

小学校 5 年 国語 「作者で広げる私たちの読書」

授業のねらい

○文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。

ICT 活用の工夫

- 教師が Word を利用して、作者紹介カードの型を作成する。
- Teams を活用して、児童に作者紹介カードのデータを配布する。
- 児童は、本の表紙を印刷することなく、データを挿入したり、説明文を入力したりすることで自分のカードを完成させる。

ヨシタケシンスケ

2 組

作者のキャッチコピー：ヨシタケシンスケさんの作品はどんなことでも多角的に考える事が出来るという考えをあたえる作品が多い。

書名「もう逃げない」

書名「みえるとかみえないとか」

おかあさんが腹をぬがせようと引っ張ると腹が引っかかってしまった一人で脱ごうとする男の子の運命は...

宇宙飛行士のぼくある星にたどり着くとそこには後ろにも目がある宇宙人がいた見え方が違う宇宙人と自分を比べる話

緑川 聖司

2 組

自分が主人公と同じふうにする作品が多い。
小学生～中学生向け
短編集がたくさんついている。怪談系が多い。

書名「よみがえる怪談 灰色の本」

書名「図書館の怪談 黄泉の本」

お墓の前に忘れられていた一冊の本。『灰色の本』と題されたその本を手にとったときから、彼女は怪談の世界にまきこまれていく...

冬休み。家族と温泉旅行のきっかけた風人は、旅館にあった『旅の図書館』で、黄泉へと連なる、『黄泉の本』を見つける図書館で出会ったミナと黄泉の森を探す物語。十の短編集がある。

いとうみく

2 組

この本は、小説です。短編集がでてくるのが多く、読書知識が、多いです。
読んでみると、最後の結果がすごい事になる本がほとんどあり、とっても読んでいて面白いです。実は、最終的に読むと、読むと、面白いです！
最後は大体ハッピーエンド☆

「ぼくらの一等列車」

「美子の体罰」

六年生の二学期に転校してきた水口菊花が急に 30 人 31 人の大会に出ること！
でも走るの遅い菊花はみんなの足を引っばってしまう...

どんなに悲しくても、どんなに落ち込んでいてもご飯を食べれば食べて思えたけれどなぜか、ダイエットをすることに...

【児童が作成した作者紹介カード】

児童の様子

○同じ型に文章を打ち込むので、何を書けば良いか分からないということがなく、スムーズに作業を行っていた。

成果

- 字形が整わない児童も、自信をもって作品等を見せながら発表することができた。
- 何冊も本を借りてきて、コピーする手間を省くことができた。

課題

○児童によっては空欄の調整に難しさを感じていたり、画像の大きさを変更できていなかったりする児童もいたので、基本操作の指導をより丁寧に行う必要があった。